

教科	本校児童の学力の実態	実態から身につけさせたい「確かな学力」	学年で取り組む具体的な方策	評価
国語	○入学当初から平仮名を読んだり書いたりできる児童が多かった。 ○音読に意欲的に取り組む児童が多い。 ▲正しい書き順や整った形で平仮名を書けない児童がいる。 ▲文字を読んで文章として理解できない児童がいる。	・正しい姿勢、正しい鉛筆の持ち方、正しい書き順を身に付けさせる。 ・文字を文章として理解できるようにする。	・教室掲示をしたり継続的に声掛けをしたりして、正しい姿勢や持ち方、書き順への意識を高めさせ、確実に身に付けさせる。 ・音読を毎日の宿題とし、文字を読んで理解できるようにする。	
算数	○ブロックを使って和や差の操作をすることができる。 ▲文章問題の文章が読み取れず、問題の意味が理解できない児童が多い。国語力の問題？。	・文章題を絵や線分図で表し、問題を理解し、課題を解決する力。	・図やブロックなどを使い、具体物などを通じて理解しやすいようにする。 ・国語の文章の読み取りの機会を多く設け、算数と連携しながら文章が読み取れるようにする。 ・朝学習や学習の合間の読書を奨励し、読書の機会を多く設ける。	
生活	○学校探検や校庭探検などの活動に意欲的である。 ▲観察での発見を絵や言葉で表現する力が不十分な児童がいる。	・自分の発見を言葉や絵で表現する力。	・観察の視点を「葉」「つる」「花」「つぼみ」等しぼって観察させる。 ・文例を示し、最初のうちは真似をさせながら文型を覚えさせる。	
音楽	○歌ったり、演奏したりすることに興味をもち、取り組むことができる。 ○身体で音楽を表現したり、リズムを打ったりして、楽しく取り組むことができる。 ▲簡単なリズムや鍵盤の指使いを正確に取れない児童がいる。	・運指や音色に気を付けて演奏する力を身に付けさせる。 ・リズムを正確にとる力を身に付けさせる。	・1小節ずつ分けて繰り返し練習をしたり、指番号・音階を暗唱させたりして練習に取り組む。 ・授業にリズム遊びや打楽器のリズム打ちを取り入れる。	
図工	○自分の思いのままに自由に表現できる児童が多い。 ○意欲的に取り組む児童が9割以上いる。 ○友達作品にも関心をもっている。 ▲絵の具など様々な画材に触れていない。	・学んだことや体験したことを関連させて発想したり、様々な技法を生かしたりする。	・クレヨン、色鉛筆だけでなく様々な画材を使用する機会を増やす。 ・画用紙や段ボール等様々な材料を選んで使用させることで、学習や経験を関連させて一つの作品を作れるようにする。	
体育	○意欲的に取り組む児童が多い。体を動かすことの楽しさや心地よさを感じている児童が多い。 ▲きまりや活動を工夫する力は不十分である。	・自分たちの力に応じて、きまりや活動を工夫する力を身に付けさせる。	・話し合いや教え合い、発表の場面を作り、思考・判断・表現力を高める。	

教科	本校児童の学力の実態	実態から身につけさせたい「確かな学力」	学年で取り組む具体的な方策	評価
国語	○CDTテストでは、話す聞く能力が2ポイント、言語事項が1ポイント全国平均を上回り、読む能力は全国平均と同じだった。 ▲書く能力については、CDTテストで全国平均を7ポイント下回り、到達不十分の児童が多い。	・簡単な文章の構成を知り、自分の気持ちや考えを表現できる力。	・継続して日記の宿題を出し、書くことの必然性を増やす。 ・各教科や活動の振り返りを積極的に書かせる。 ・書き方(型)の提示、気持ちを表す多様な言葉を例示し、書き表し方の基礎を身に付けさせる。	
算数	○意欲的に学習に取り組み、進んで問題を解決しようしたり、積極的に発表したりできる。 ○CDTテストでは、技能の評価は全国平均を3ポイント上回った。 ▲問題文の意味が理解できず、問題を解決することが難しい児童がいる。	・生活と結びつけながら課題に取り組める力 ・問題文をイメージし、演算できる力	・日常生活の場面を想像させたり、身近な教材を提示することによって、生活と結びつけて考えさせる。 ・具体物を活用して問題を理解しやすいようにする。 ・問題文に下線を引き、文意を理解させる。	
生活	○植物や生き物の観察・お世話を意欲的に行える児童が多い。 ▲観察して気付いたことを表現する力に課題がある。	・気付いたことを表現するという視点を持ち、考えながら観察する力。 ・自分の気付きを新聞や文章にして分かりやすく表現する力。	・学習のゴール(表現方法まで)を児童に理解させて観察や活動を行う。 ・国語科で学んだ学習を生かす。(観察文の書き方や、順序を表す言葉を使った文)	
音楽	○情景や気持ちを想像して歌ったり、演奏したりすることに興味をもち、取り組むことができる。 ▲鍵盤ハーモニカの指使いや息使いに課題がある子がいる。 ▲表現活動を恥じらう児童がいる。	・鍵盤ハーモニカを正しく演奏する力。 ・音楽を心から楽しむ表現力。	・歌唱指導と、楽器指導を計画的に指導する。 ・表現活動を積極的に取り入れ、気持ちを開放する体験を重ねる。	
図工	○児童が興味をもって意欲的に取り組み、興味関心も高い。 ▲イメージをもつことが難しい児童、イメージしたことを表現することが難しい児童がいる。 ▲絵の具などの用具の使い方の指導が必要な児童がいる。	・イメージをふくらませ、表現の仕方考える力	・描き始める前に、友達とイメージしたことを交流させ、ふくらませる。 ・例示作品等を見せて表現の仕方を見て、真似して学べるようにする。 ・さまざまな用具、材料に触れさせ、それぞれの素材を用いた多彩な表現方法を経験させる。	
体育	○体を動かすことの楽しさや心地よさを感じている児童が多い。 ▲きまりや活動を工夫する力が不十分である。	・自分の考えをもち、きまりや活動を工夫する力	・友達と意見を交流し合い、自分たちで工夫しながら楽しく活動できるようにする。 ・授業の中に、話し合う時間や見合ったりほめあったりする時間を設定する。	

教科	本校児童の学力の実態	実態から身につけさせたい「確かな学力」	学年で取り組む具体的な方策	評価
国語	○4月実施のCDTテストの結果、話す聞く能力が4ポイント高い。 ▲全国平均より、言語事項が4ポイント、書く能力2ポイント、読む能力3ポイント低い。	言葉や文字を正しく読んだり、書いたりする力	・学期末漢字テストやプリントで漢字の反復練習をさせる。 ・言語に関して、教科書で学習した内容をプリントで復習する。 ・宿題での繰り返し漢字練習を定着させる。	
社会	○見学や調べ学習に意欲的に取り組むことができる児童が多い。 ▲地図や資料を読み取ることを課題とする児童が半数以上。	地域社会の様子や人々のくらしについて理解する力	・地図や資料を活用した授業を行い、読み取る際の視点を示す。 ・読み取って分かったことを交流する時間を取り入れる。(言語活動)	
算数	○CDTテストの結果から、教科全体の正答率は全国平均を3ポイント上回っていることが分かった。特に、知識・理解については、6ポイント上回っていた。 ▲どの観点においても全国平均は上回ったものの、数学的な考え方に課題があることが分かった。	・既習の内容や基礎的基本的な知識や技能を活用して問題を解決する力。	・1つの問題に対して様々な解き方があることを知ることができるように、友達と意見を交流し合う時間を設定する。	
理科	○植物やチョウの観察に意欲的に取り組む児童が多い。 ▲観察して分かったことを比較して表現する力に課題がある。	観察や実験などから分かったことを、比較して表現する力。	・観察の視点を明確にする。 ・事実と感想を区別させる指導を行う。 ・観察や実験などから分かったことを交流する時間を取り入れる。(言語活動)	
音楽	○表現活動が好きで、すすんで友達と合わせて演奏したり、発言したりする子が多い。 ▲リコーダーの演奏技能があまり定着していない。	・基礎的、基本的な演奏の技能。	・個々の実態を把握し、個別指導をする時間をつくる。 ・スモールステップの積み重ねによって無理なく技能を身に付けることができるようにする。	
図工	○絵を描いたり、工作をすることが好きな児童が多い。 ▲課題の始めは意欲的だが、見通しを持って取り組む児童がまだ少数のため、予定の期日までに完成しない児童が複数いることがある。	・活動の見通しを持って、粘り強く取り組める力	・1つの課題につき6時間から8時間程度かけて完成させるような、じっくりと取り組める課題を設定する。	
体育	○運動に意欲的に取り組む児童が多い。 ▲自分の課題に最後まで粘り強く取り組める児童が少ない。 ▲友達と学び合える児童が少ない。	めあてをもって、運動に取り組む力 友達と関わり合いながら運動に取り組む力	・毎時間めあてを明確にする。 ・技能ポイントを明確に示し、自分の課題を把握しやすくする。 ・友達と関わり合う活動を多く取り入れる。	

教科	本校児童の学力の実態	実態から身につけさせたい「確かな学力」	学年で取り組む具体的な方策	評価
国語	○CDTテストの結果から、教科全体の正答率は全国平均を1ポイント上回っていることが分かった。特に読む能力は5ポイント上回った。 ▲CDTテスト、標準学力調査の結果から、書く力に課題があることが分かった。	・自分の思いや考えが伝わるように、段落と段落のつながりに気を付けながら、正しい表記で書く力	・単元の中で、思いや考えを表現する機会を必ず設定する。 ・自分の考えを書くときのポイントや手本を具体的に示して書かせたり、日常的に書く活動に取り組ませたりする。 ・主述の関係、文のねじれ、接続詞などに関するプリントの反復練習に取り組ませる。	
社会	○CDTテストの結果から、教科全体の全国平均を4ポイント上回っていることが分かった。特に技能と知識・理解は、全国平均より5ポイント上回った。 ▲日頃のワークテストでは、観察・資料活用の技能に課題がある児童がいる。	・グラフや表、地図などの資料を適切に読み取る力	・教科書や関連資料、地図帳等を活用し、課題を解決することによって、資料を読み取る力を高める。	
算数	○CDTテストの結果から、教科全体の正答率は全国平均を2ポイント上回っていることが分かった。また、どの観点においても全国平均よりも上回っていた。 ▲CDTテスト、標準学力調査の結果から、数学的な考え方に課題があることが分かった。	・既習の内容や基礎的・基本的な知識や技能を活用して問題を解決する力。	・基礎的・基本的な内容を確実に定着させるために、復習や繰り返し練習問題を解く時間を設定する。	
理科	○CDTテストの結果から、教科全体の正答率は全国平均を2ポイント上回っていることが分かった。また、どの観点においても全国平均よりも上回っていた。 ▲CDTテスト、標準学力調査の結果から、数学的な考え方に課題があることが分かった。	・既習の内容や基礎的・基本的な知識や技能を活用して問題を解決する力。	・基礎的・基本的な内容を確実に定着させるために、復習や繰り返し練習問題を解く時間を設定する。	
音楽	○表現活動が好きで、すすんで友達を合わせて演奏する児童が多い。 ▲リコーダーの演奏技能が定着せず、それにより意欲が下がってしまう子がいる。	・基礎的、基本的な演奏の技能	・子供たちの実態に合った選曲をする。 ・スモールステップの積み重ねによって無理なく演奏技能を身に付けることができるようにする。	
図工	○絵を描いたり、工作をすることが好きな児童が多い。 ▲課題の始めは意欲的だが、見通しを持って取り組む児童がまだ少数のため、予定の期日までに完成しない児童が複数いることがある。	・活動の見通しを持って、粘り強く取り組める力	・1つの課題につき6時間から8時間程度かけて完成させるような、じっくりと取り組める課題を設定する。	
体育	○意欲的に活動する児童が多い。 ○自分のレベルに合わせて場を選ぶことができる。 ▲教え合い、学び合いを関係の濃い友達としかできない児童が多い。 ▲ねらいに沿わない振り返りを行う児童がいる。	・全体のめあてを基に、自分のめあてを考え、運動に取り組む力 ・いろいろな児童と関わりながら運動する力	・自分のめあてを立てる時間をとる。 ・チームやグループに分け、教え合い、学び合いの場を設定する。	

教科	本校児童の学力の実態	実態から身につけさせたい「確かな学力」	学年で取り組む具体的な方策	評価
国語	○CDTテストの結果から、「話す・聞く」が全国平均正答率を3ポイント上回った。 ○本を読むことが好きな児童が多い。 ▲文章を書くことを苦手としている児童が多い。	・文章を正しく書く力 ・文章を正確に読み取る力	・児童が体験した活動やその時の気持ちを文章で表す活動を取り入れ、文章を書く力を高める。日記を家庭学習で行うことによって文章を書くことに慣れさせる。 ・要点を読み取ったり、要旨をまとめたりする学習に取り組み、読解力を高める。	
社会	○CDTテストの結果から、ほぼ全国平均と変わらない。 ○全国各地の気候や産業、生活様式に興味をもって学習に取り組む児童が多い。 ▲地理的な用語や特徴を知識として覚えたり、理解したりすることが苦手な児童が多い。また、資料を読み取って課題を解決する力が低い児童がいる。	・資料を読み取る力 ・情報を適切に調べ、まとめる力	・教科書や関連資料や地図帳・地球儀を活用し、課題を解決することによって、資料を読み取る力を高める。 ・各種産業について、主体的に調べたり、まとめたりできるように、新聞を作成する学習を取り入れ、まとめる力を養う。	
算数	○CDTテストの結果から、正答率が知識・理解については1ポイント上回っていることが分かった。 ▲CDTテストの結果から、教科全体の正答率が全国平均を1ポイント下回っていることが分かった。特に、数学的な考え方と技能について課題がある。	・1つの問題に対して複数の解決方法があることを知り、様々な解決方法を使って問題を解決できる力。	・授業の中で、自力解決の時間を十分に確保し、ペアやグループで考えを共有したあと全体で意見を出し合う活動を取り入れる。	
理科	・CDTテストの結果から、ほぼ全国平均と変わらない。 ○自然現象や植物、動物などの生命に興味を示し、意欲的に実験観察に取り組むことができている。 ▲実験の前に条件整備を行い、実験をし、考察を記録するといった学習の流れの定着に課題が見られる。	・実験条件を整備した上で、実験の予想や仮説を立てる力	・実験前に自分で条件を考えさせる。 ・条件に付いて班やグループで話し合わせ、必要な条件を精選する活動を取り入れる。	
音楽	○表現活動が好きで、すすんで友達を合わせて演奏する児童が多い。 ▲譜読みができれば満足してしまう児童が多い。	・友達と協働しながら、工夫して表現する力。	・ペア、少人数グループによる活動をしたり、ワークシートを活用したりして、一人一人が思いをもち表現を工夫する機会をつくる。	
図工	○絵を描いたり、工作をすることが好きな児童が多い。 ▲作業が早くて雑な児童と、丁寧だが設定した時間内に完成の目途が立たずにいつまでも終わらない児童の差が大きい。	・興味・関心を持続させ、進んで表現活動に取り組むことのできる力	・題材ごとに導入を工夫し、作品例を提示するなど、作品制作の目標を示す。	
家庭科	○裁縫や簡易な調理実習について意欲的に取り組んでいる。 ▲針の扱い方や細かい作業が苦手な児童がいる。	・活動に知識を生かす力	・活動の中で知識・理解の定着を図る。 ・得意な児童と苦手な児童でペア学習を行い、学び合いの活動を取り入れる。	
体育	○体を動かすことが好きで、運動に意欲的に取り組む児童が多い。 ▲課題解決に向けて、仲間同士で学びあったり工夫したりする活動が十分にできていない。	・仲間とともに学びあい高め合う力	・課題解決に向けて、仲間と学び合う時間や解決のための運動に取り組む時間を設定し、めあてに向かって活動できるようにする。	

教科	本校児童の学力の実態	実態から身につけさせたい「確かな学力」	学年で取り組む具体的な方策	評価
国語	○読書に進んで行う児童が多くみられる。 ▲CDTテストの結果から、全国平均比較をすべての領域で下回っている。	書く能力 読む能力 ・説明文を読み、問題で問われていることをしっかりと理解し、文章中から読み取ることができる力。 ・わからない問題でも最後まで文章を読み、解こうとする力。	・ワークシートを活用し、教科書本文から要点を読み取る学習を意図的に多く取り組み、読解力の向上を図る。 ・解ける達成感を味わわせるワークプリントの活用。 ・日記指導や日々の学習において、書く活動を多く取り入れ、書くことに慣れさせていく。	
社会	○歴史分野への興味・関心が多く、意欲的に取り組む児童が多い。 ▲自分で調べたり、考えたりしたことを表現する力が弱い。 ▲CDTテストの結果から、全国平均より-10Pであることが分かった。	・図や資料などを活用して説明・表現する力 ・学習した新しい言葉や地名や取り組み等、新しく覚えた言葉を覚える力。 ・わからない問題でも最後まで文章を読み、解こうとする力。	・学習課題に対して、教科書や資料集などを活用して調べる時間を設ける。 ・学習したことを練習問題にし、何度もくり返し、取り組むことで、学習内容の定着を図る。 ・学習意欲を少しでも高められるよう、課題解決的な要素を取り入れ、積極的に取り組める工夫を行う。	
算数	○CDTテストの経年変化から、基礎的な技能が定着してきた。 ▲文章問題など思考・判断が弱い。 ▲文章問題の題意を正確にとらえられない。 ▲CDTテストの結果から、「数学的な考え方」、「技能」は全国平均より-11Pであり、課題がある。	題意を捉え、既習事項を生かして課題を解決することができる力。	・既習事項を確認しながら授業を進める。 ・文章問題など、間違いの多い問題を全体で扱い、つまずきやすいところは繰り返し確認する。	
理科	○自然現象や植物などに興味を示し、意欲的に実験観察に取り組むことができている。 ▲実験をすることが目的となり、必要な技能や知識を習得していない。 ▲CDTテストの結果から、「思考・表現」、「知識・理解」は全国平均より-16Pと大きく下回っていた。	・学んだことを次の学習や生活の場面で生かそうとする力 ・新しく学んだ言葉や現象などをしっかりと理解し、覚える力。 ・実験や授業でやったこととテストの内容を結び付けられる力。	・以前に学習した内容を思い起こし、比較しながら、共通点や違いに気付くことができるようにする。 ・新しく学んだ言葉を繰り返し練習し、学習内容の定着を図る。 ・類似問題や発展問題などを解き、テストにも生かせるよう、実態に合った問題集を活用する。	
音楽	○音楽づくりの領域に興味関心の高い児童が多い。 ▲表現することに苦手意識があり、意欲が低下している児童が多い。	音楽活動へ意欲的に取り組む力。	・子供たちの実態に合わせた選曲をする。 ・子供たちが集中して学習に取り組むことができるような授業展開の工夫をする。	
図工	○図画よりも工作が好きな児童が多い。 ▲最初から最後まで手が進まないような児童もいる。	・活動の見通しを持って、粘り強く取り組むことのできる力	・人の作品を見たり、作品について意見交流する時間を設けて、見通しを持って活動させる。	
家庭科	○裁縫や調理実習などの活動に意欲的に取り組む。 ▲知識・理解の定着が難しい。	活動に知識を生かす力	活動の中で知識・理解の定着を図る。	
体育	○意欲的に取り組む児童が多い。 ▲教え合い、学び合いなど関わりが十分にできていない児童が多い。	関わりのある活動や話し合いをする力	グループやペアなど学習形態を工夫し、関わりをもたせる。	